

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 12月

令和4年12月1日の推計人口 1,281,111人
世帯数 558,327世帯

参考：R2.10.1現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1 推計人口

令和4年12月1日現在の推計人口は、1,281,111人で、前月(1,281,938)に比べ827人の減少となった。

市部では大村市(24)、雲仙市(7)の2市で増加し、長崎市(△239)、佐世保市(△121)、南島原市(△83)、平戸市(△57)、五島市(△50)、対馬市(△44)、壱岐市(△41)、西海市(△41)、松浦市(△36)、島原市(△22)、諫早市(△10)の11市で減少した。

郡部では、佐々町(12)、波佐見町(3)の2町で増加し、時津町(△38)、長与町(△36)、新上五島町(△31)、川棚町(△9)、小値賀町(△8)、東彼杵町(△7)の6町で減少した。

自然動態は、出生数730人、死亡数1,586人で856人の減少、社会動態は、転入者数2,448人(県内転入を含む)、転出者2,419人(県内転出を含む)で、29人の増加となった。

2 世帯数

令和4年12月1日現在の世帯数は、558,327世帯で前月(558,368)に比べ41世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計=R2国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】 …… 10月

1人当たり現金給与総額 242,260円
対前月比 1.1%減少
対前年同月比 1.5%減少

1 賃金

10月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は242,260円で、前月に比べ1.1%減少し、前年同月に比べ1.5%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は240,054円で、前月に比べ0.6%減少し、前年同月に比べ1.6%減少した。

特別給与額は2,206円で、前年同月に比べ、216円増加した。

2 労働時間

10月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は145.0時間で、前月に比べ0.6%増加し、前年同月に比べ2.0%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は133.4時間で前月に比べ0.4%増加し、前年同月と比べ、2.6%減少した。

所定外労働時間数は11.6時間で、前月に比べ2.7%増加し、前年同月に比べ6.5%増加した。

3 雇用

10月の常用労働者数は212,691人で、前月に比べ、0.4%減少し、前年同月に比べ0.6%減少した。

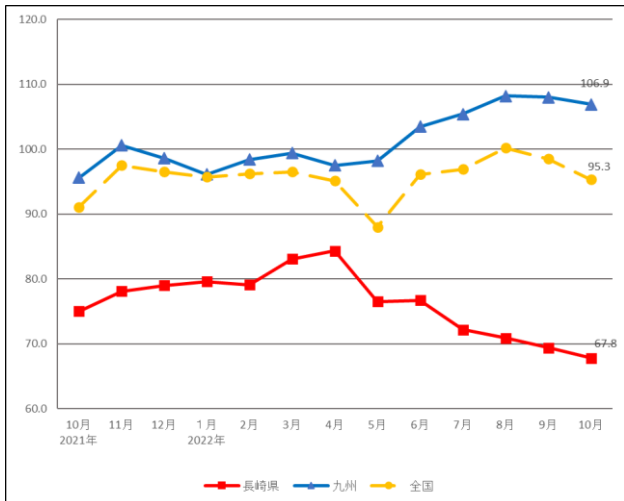
【鉦工業生産指数】……………10月

令和4年10月の鉦工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
	指数	前月比(%)		
長崎県	67.8	△2.3	69.1	△10.5
九州	106.9	△1.5	108.6	10.6
全国	95.3	△3.2	95.6	3.0

鉦工業生産指数の推移【季節調整済指数】



2022年10月の鉦工業生産指数は、季節調整済指数が67.8で対前月比は2.3%の減、原指数は69.1で対前年同月比は10.5%の減となった。

業種別にみると、繊維工業、輸送機械工業など5業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、電気機械工業、食料品工業など8業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
繊維工業	29.0	漁網・陸上網
輸送機械工業	5.4	修繕船

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	△31.0	包装機械
電気機械工業	△13.2	開閉制御装置
食料品工業	△7.0	その他の調味料

(注)前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………11月

総合指数(R2=100)

104.0

対前月比(%)

+0.2

対前年同月比(%)

+4.1

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、104.0である。

前月比+0.2%で、主な上昇要因は「家具・家事用品」の+2.8%、「光熱・水道」の+1.1%であり、主な下落要因は「教養娯楽」の△1.6%、「保健医療」の△0.3%である。

前年同月比は、7月は+2.9%、8月は+3.1%、9月は+3.0%、10月は+3.7%と推移した後、11月は+4.1%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.5で前月比+0.4%の上昇であり、前年同月比は+3.7%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

家具・家事用品	2.8 %
被服及び履物	2.4 %
光熱・水道	1.1 %
食料	0.2 %
諸雑費	0.1 %

▽同水準の費目

住居	±0.0 %
交通・通信	±0.0 %
教育	±0.0 %

▽下落した費目

保健医療	△0.3 %
教養娯楽	△1.6 %

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………11月

消費支出(一世帯当たり) 326,016円

前月比 24,789円減(7.1%減)

令和4年11月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は326,016円で、前月比7.1%の減、前年同月比は15.3%の増であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は93.9%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。